

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県ライトセンター

指定管理者 日本赤十字社

施設所管課 障害福祉課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

提案どおりに着実に取組みを実施し、視覚障害者の社会参加促進につながった。また、利用状況も良好であり、収支状況も懸念がないことからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11.9	11.14	○	×	×	なし	
11月	12.9	12.14	○	×	×	なし	
12月	1.12	1.13	○	×	×	なし	
1月	2.13	2.17	○	×	×	なし	
2月	3.8	3.16	○	×	×	なし	
3月	4.12	4.13	○	×	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

施設の効用を高めるため、視覚障害者に対する福祉の向上の観点から、具体的な事業を提案した。

①視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供事業を実施

②視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導訓練事業を実施

③視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施

- ④視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施
- ⑤視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施

<実施状況>

- ① 10月～3月 情報提供事業を実施【音声解説付きDVD映画体験会（毎月開催）】
- ② 10月～3月 指導訓練事業を実施
- ③ 10月～3月 ボランティア育成事業を実施【ボランティア養成講座及び技術研修の実施】
- ④ 10月～3月 スポーツ教室を実施
- ⑤ 10月～3月 普及啓発事業を実施【福祉教室（47回、3,108人参加）】

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	314,746 (353,445)	282,746 (353,445)	0 (0)	32,000 (0)	314,746 (353,445)	0 (0)
下半期 予算額	157,362	141,362	0	16,000	157,362	0
10月	21,289	21,289	0	0	21,712	△423
11月	37,289	21,289	0	16,000	27,489	9,800
12月	34,913	34,913	0	0	39,093	△4,180
1月	21,289	21,289	0	0	28,567	△7,278
2月	36,230	21,289	0	14,941	22,152	14,078
3月	21,293	21,293	0	0	39,448	△18,155
今年度 半期計	172,303	141,362	0	30,941	178,462	△6,159
前年度 同期計	184,627	184,627	0	0	178,737	5,890

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いいたします。

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期	7,521,150 円	高圧電気設備修繕 1,018,500 円 オイルフリー式スクリーン圧縮機修繕 220,500 円 プール室温度支持調節計交換 619,500 円 2階テラス防水改修工事 577,500 円 高圧交流気中負荷開閉器 P A S、高圧ケーブル更新工事 1,785,000 円 プール更衣室・見学室壁塗装及びシャワーブース交換 945,000 円 トイレ排水不良改修 252,000 円 屋根防水補修工事 215,250 円 給水管漏水修繕 1,887,900 円
総額	7,521,150 円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用
10月	3,984人	4,208人	4,221人	4,258人	△5.6%	△1.2%
11月	3,807人	4,849人	3,640人	4,123人	4.6%	17.6%
12月	4,262人	3,688人	3,995人	3,492人	6.7%	5.6%
1月	3,788人	3,559人	3,641人	3,361人	4.0%	5.9%
2月	3,820人	3,766人	3,708人	4,052人	3.0%	△7.1%
3月	4,352人	4,077人	3,886人	2,742人	12.0%	48.7%

	目標利用者数	利用者数		前年同月利用者数		目標対比増減率	前年対比増減率	
		図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用		図書貸出数	施設利用
今年度上半期計	-人	24,298人	24,296人	23,559人	26,540人	-	3.1%	△8.5%
今年度下半期計	-人	24,013人	24,147人	23,091人	22,028人	-	4.0%	9.6%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください）。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ① 該当なし（今年度（平成24年）3月の施設利用者数が大幅に増加しているのは、東日本大震災の影響により、前年（平成23年）3月15日から4月17日まで、プールの利用を中止していたため。）
- ② 施設の性質上、目標利用者数の定めなし。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	3（0）	0（0）	2（0）	0（0）	0（0）	5（0）

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

→該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

→該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。

→該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果（指定管理者の課題の有無等を含む）
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づき事業を実施した。 今年度は「ライトセンターフェスティバル」と「ライトセンター音楽祭」を2日連続で開催し、フェスティバルは1,780人、音楽祭は632人の来場者があった。フェスティバルでは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の協力による「さわる絵画展」など新たな取組みを行ったところ、好評であった。また、音楽祭については、前年の351人から大幅に増加した。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 年度協定の事業計画に基づき、着実に事業が行われている。 毎年恒例のフェスティバルの内容については、様々な企画に取り組んでおり、評価できる。 フリーライミング教室など、新たなスポーツ教室も行っており、今後も新たに教室や講座を企画するなど、利用者サービスの向上に努めていただきたい。 施設の管理についても引き続き良好に努めていただきたい。